

CLIPPEDIMAGE= JP410134105A

PAT-NO: JP410134105A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10134105 A

TITLE: EXEQUY, FUNERAL, AND MOURNING BACKUP SYSTEM

PUBN-DATE: May 22, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

YOSHINAGA, RYOICHI
KAWASHIMA, MASAHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

KK J PLAN

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08285055

APPL-DATE: October 28, 1996

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To speedily determine an optimum trader by sending a screen to an Internet accessing user at a user's request along a structure shown with link information in an HTML document forming the screen showing information on traders relating to exequy, funeral, and mourning services.

SOLUTION: A terminal 14 is connected to a Web server 10 through a network 12 and the HTML document forming the screen showing information traders relating to exequy, funeral, and mourning services is stored by operating the console of the Web server 10 or the terminal 14. A user who holds an exequy, funeral, mourning turns ON an Internet terminal and starts a browser

to input the URL of
a domain name containing an English character string
meaning or associated with
the exequy, funeral, or mounting obtained from a telephone
directory or
advertisements, thereby starting access to the Web server
10. Consequently, a
home page of trader information is displayed and a jump to
the home page of a
trader is jumped with the displayed information to
determine a proper trader.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-134105

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月22日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

Z

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平8-285055

(22) 出願日 平成8年(1996)10月28日

(71) 出願人 596044572

株式会社ジェイプラン

東京都東村山市本町2-8-2

(72) 発明者 吉永 良一

東京都国分寺市光町2-17-27

(72) 発明者 川島 正仁

東京都東村山市本町2-8-2-404

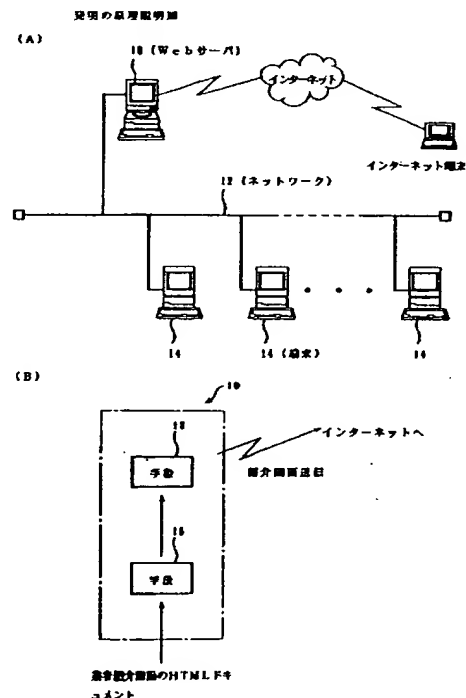
(74) 代理人 弁理士 伊藤 儀一郎

(54) 【発明の名称】 葬儀葬式法事支援システム

(57) 【要約】

【課題】 葬儀、葬式や法事を円滑に行えるよう支援するシステムに関し、最適な業者を容易かつ迅速に決定することが可能となるシステムを提供する。

【解決手段】 葬儀、葬式、法事を意味するまたは連想させる英文字列が含まれたドメイン名でインターネットよりアクセスされるWebサーバ10と、Webサーバ10にネットワーク12を介して接続された端末14と、を有し、Webサーバ10は、葬儀、葬式、法事に関連した業者の情報を提示する画面が形成されるHTMLドキュメントを自コンソール、前記端末14の指示に従い格納する手段16と、前記HTMLドキュメント内のリンク情報で示される構造に沿って前記画面をインターネット経由のアクセス元へ該アクセス元の要求に応じ送出する手段18と、を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】葬儀、葬式、法事を意味するまたは連想させる英文字列が含まれたドメイン名でインターネットよりアクセスされるWebサーバ(10)と、
Webサーバ(10)にネットワーク(12)を介して接続された端末(14)と、
を有し、
Webサーバ(10)は、
葬儀、葬式、法事に関連した業者の情報を提示する画面が形成されるHTMLドキュメントを自コンソール、前記端末(14)の指示に従い格納する手段(16)と、前記HTMLドキュメント内のリンク情報で示される構造に沿って前記画面をインターネット経由のアクセス元へ該アクセス元の要求に応じ送出する手段(18)と、含む、
ことを特徴とした葬儀葬式法事支援システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、葬儀、葬式や法事を円滑に行えるよう支援するシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】葬儀、葬式や法事は身近なものではあるが、その際に何をどのようにするべきかを知る者は少ない。このため、専門の業者や互助会に依頼することが一般的となっている。多くの場合、知人から紹介された業者や互助会をそのまま選定しており、また、電話帳に掲載されていた業者や互助会により選択している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】葬儀業者等の決定に際しては考慮すべき事項が多い。例えば、葬儀、葬式、法事は宗教、宗派により内容が大きく異なる。また、遠く離れた場所で行わなければならない場合も少なくない。さらに、葬儀、葬式、法事には多額の費用が必要となる。

【0004】しかしながら、通常は葬儀、葬式、法事につき日柄を気にしつつきわめて迅速に行わなければならないが、各葬儀、葬式、法事を行う日までの時間的な余裕がないことから、これらの条件を全て満たす最適な業者を決定できず、適当な業者で妥協せざるを得なかった。従って、各業者はこの様な状況も相俟って、依頼者には比較的高額の費用を要求することも多々あった。

【0005】本発明は上記の事情に鑑みて為されたものであり、その目的は、最適な業者、特に費用面、サービス面についての最適な業者を容易かつ迅速に決定することが可能となるシステムを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】図1(A)、(B)において、葬儀、葬式、法事を意味するまたは連想させる英文字列が含まれたドメイン名でインターネットよりア

セスされるWebサーバ10と、Webサーバ10にネットワーク12を介して接続された端末14と、を有し、Webサーバ10は、葬儀、葬式、法事に関連した業者の情報を提示する画面が形成されるHTMLドキュメントを自コンソール、前記端末14の指示に従い格納する手段16と、前記HTMLドキュメント内のリンク情報で示される構造に沿って前記画面をインターネット経由のアクセス元へ該アクセス元の要求に応じ送出する手段18と、を有する。

【0007】(作用)葬儀、葬式、法事を意味するまたは連想させる英文字列が含まれたドメイン名でインターネットよりアクセスされるWebサーバ10を用意する。

【0008】そして、Webサーバ10にネットワーク12を介して端末14を接続し、葬儀、葬式、法事に関連した業者の情報を提示する画面が形成されるHTMLドキュメントをWebサーバ10のコンソール、端末14を操作して格納する。葬儀、葬式、法事に関連した業者は電話帳などにWebサーバ10のドメイン名を掲載し、広告宣伝の際にはこれを示すなど、同ドメイン名の周知に努める。

【0009】葬儀、葬式、法事を行おうとする者はインターネット端末を立ち上げてブラウザを起動し、電話帳や広告宣伝で知得した上記ドメイン名のURLをブラウザへ入力し、Webサーバ10のアクセスを開始する。その結果、業者情報のホームページが表示され、以後はHTMLドキュメント内のリンク情報で示される構造に沿ってページをジャンプし、表示された情報から適切な業者を決定する。

【0010】各業者はWebサーバ10のサイト側と相談するなどして自己の業務内容を顧客が容易かつ正確に理解できるホームページを作成し、最新のものに随時更新する。

【0011】

【発明の実施の形態】図2において、Webサーバ10がネットワーク12のケーブル11と接続されており、そのケーブル11には複数の端末14が接続されている。Webサーバ10にはUNIXマシンが使用されており、同マシンでhttpのデーモンが起動されている。Webサーバ10は電子メールに関する機能も有している。

【0012】各端末14にはパーソナルコンピュータが使用されており、これら端末14はネットワーク12のケーブル11を介しWebサーバ10との間でファイル転送を行える。さらにSQLデータベースサーバ17がネットワーク12のケーブル11に接続されている。

【0013】SQLデータベースサーバ17にもUNIXマシンが使用されており、そのサーバ17はWebサーバ10、各端末14の側からアクセスされる。そしてWebサーバ10はインターネット13に接続されてお

り、これを介してインターネット端末15からアクセスされる。Webサーバ10には葬儀、葬式、法事を意味するまたは連想させる英文字列(例えば、"funeral")が含まれたドメイン名が付与されており、各インターネット端末15は葬儀、葬式、法事を行おうとする者が所有し、Webサーバ10をアクセスする際にはインターネットブラウザを起動してWebサーバ10に付与されたドメイン名のURLを入力する。

【0014】葬儀、葬式、法事の各業者はWebサーバ10のサイト側と契約を結び、顧客となる者が自己の業務内容を容易かつ正確に理解できるホームページの作成を同サイトに依頼する。Webサーバ10のサイト要員は端末14を操作して必要な事項をSQLデータベースサーバ17に登録し、かつ、依頼主のホームページを作成する。

【0015】各業者のホームページは文字、静止画、動画、三次元画像、音声などを用いてマルチメディア化され、リアルな実例まで顧客となる者に提示できるものに仕上げられ、必要に応じ最新なものへ更新される。また、各業者のホームページには電子メールのインターフェースが設けられ、インターネットアクセス元(顧客となる者)は電子メールでその業者に質問し、資料を請求し、葬儀や葬式を依頼する。

【0016】そして、SQLデータベースサーバ17はWebサーバ10と連携し、ホームページ入力 of データで検索を行い、検索結果を用いてHTMLドキュメントを自動的に生成する。このHTMLドキュメントには検索結果と対応した業者のホームページへリンクを張る情報が含まれており、インターネットアクセス元は自動生成されたホームページの該当部分をクリックするだけで、その業者のホームページへジャンプできる。

【0017】例えば、あるホームページ上で宗教、宗派、地域を選択すると、選択された宗教、宗派の葬儀、葬式、法事に経験豊かで、選択された地域をカバーする業者の一覧が表示され、いずれかの業者部分をクリックすると、その業者のホームページへジャンプする。ジャンプ先のホームページにはマルチメディア表現の各種事例が用意され、料金も明示される。

【0018】インターネットアクセス元は一覧表示された業者のホームページを全て参照して検討し、いずれかの業者を依頼先として決定する。図3ではWebサイトの手順がフローチャートを用いて説明されており、Webサーバ10を最初にセットアップしてインターネット13と接続する(ステップ300)。

【0019】次いで電子メールのセットアップ(ステップ302)を行い、SQLデータベースサーバ17のデータベースを構築してWebサーバ10と連携するプログラムを用意する(ステップ304)。そして基本となるホームページを作成(ステップ306)してから、営業活動に入る。

【0020】新規な業者から依頼を受けた場合(ステップ308)には、その業者に対してメールのアカウントを発行し(ステップ310)、マルチメディア化されたホームページを作成し(ステップ312)、必要な情報をデータベースに登録する(ステップ314)。また、既存の業者からホームページへの変更依頼を受けた場合(ステップ308)には、HTMLドキュメントその他のデータ(発信内容となる文字、静止画、動画、三次元画像、音声などのデータ)を編集し直す(ステップ316)。

【0021】図4では業者側の手順がフローチャートを用いて説明されており、まず、Webサイトにホームページの作成とインターネット13への掲示を依頼する(ステップ400)。さらに、Webサーバ10のURLを電話帳へ掲載し(ステップ402)、広告宣伝の際には同URLを明示し(ステップ404)、名刺にもこのURLを印刷する(ステップ406)。

【0022】その後、業務内容に変更が生じた場合やホームページを修正すべきと考えた場合(ステップ408でYES)は、Webサイトに連絡してこれを依頼する(ステップ410→ステップ316)。また電子メールの着信有無を調べ(ステップ412)、着信を確認した場合(ステップ412でYES)には、質問に対して応答し、請求に応じて資料を送付し、あるいは、葬儀、葬式あるいは法事の依頼を受け付ける(ステップ414)。

【0023】図5ではインターネットアクセス元(葬儀、葬式あるいは法事を行おうとする者)の手順がフローチャートを用いて説明されており、最初に自己の端末15を立ち上げ(ステップ500)、次にブラウザを起動する(ステップ502)。そして、Webサーバ10のドメイン名を電話帳や広告宣伝から知得していた場合(ステップ504でYES)は、のドメイン名のURLをブラウザへ入力し(ステップ506)、Webサーバ10のアクセスを開始する。

【0024】Webサーバ10のドメイン名が不明な場合(ステップ504でNO)は、葬儀、葬式、法事を意味するまたは連想させる英文字列(例えば、"funeral")を入力してWebサーバ10を検索し、そのドメイン名(URL)を入手する(ステップ508)。Webサーバ10の初期画面(トップのホームページ)では宗教・宗派別、地域別、料金別・・・データベースによるマルチ検索の業者一覧メニューが提示される(ステップ510)。

【0025】このときにいずれかのメニュー項目が選択されると、その項目に該当する業者一覧のホームページが表示される(ステップ512)。データベースによるマルチ検索の業者一覧メニューが選択された場合には、検索に必要な事項の入力が促される(ステップ514)。

業者一覧から任意のものを選択すると、その業者

のマルチメディア化されたホームページが表示されるので(ステップ516)、適切な業者を容易にかつ迅速に決定できる(ステップ518)。

【0026】その場で葬儀、葬式、法事の依頼を希望するときには同業者のホームページから電子メールで通知し、不明な点があるときやより詳しい資料が必要ときにも電子メールで連絡をとる(ステップ520)。以上のように、業者を捜し、探した業者の業務内容を調べて業者を選定し、その業者に葬儀、葬式、法事を依頼し、必要に応じこれに質問あるいは資料を請求することをインターネット上で全て行えることから、時間に拘束されことなく迅速に最適な業者を容易に決定することが可能となる。

【0027】各葬儀、葬式、法事を行う業者にとっても、依頼受け付けの業務を大幅に合理化するメリットが生ずる。

【0028】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、各

葬儀、葬式、法事を行う場合において、費用面、サービス面等につき、最適な業者を容易かつ迅速に決定することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】発明の原理説明図

【図2】発明が適用されたシステムの構成説明図

【図3】Webサイトの手順を説明するフローチャート

【図4】Webサイトの手順を説明するフローチャート

【図5】Webサイトの手順を説明するフローチャート

【符号の説明】

10 Webサーバ

11 ネットワークケーブル

12 ネットワーク

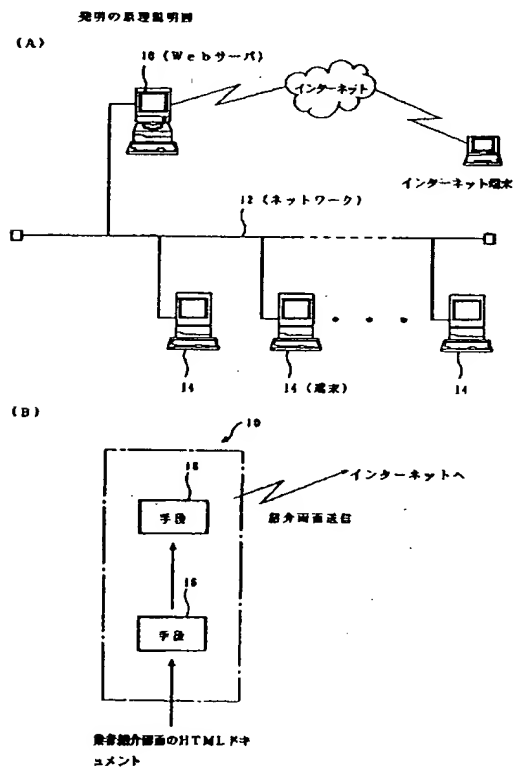
13 インターネット

14 端末

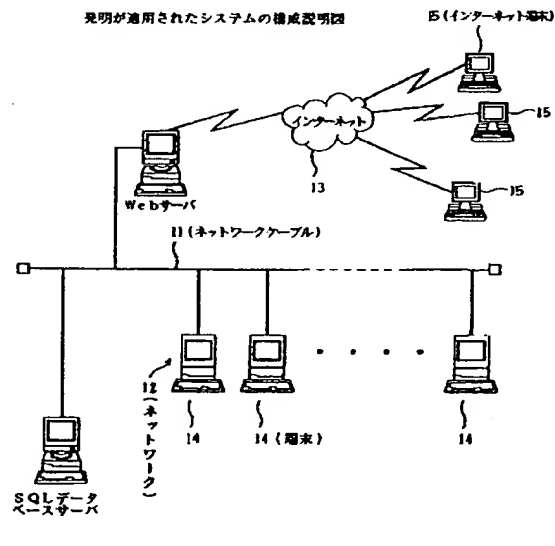
15 インターネット端末

17 SQLデータベースサーバ

【図1】

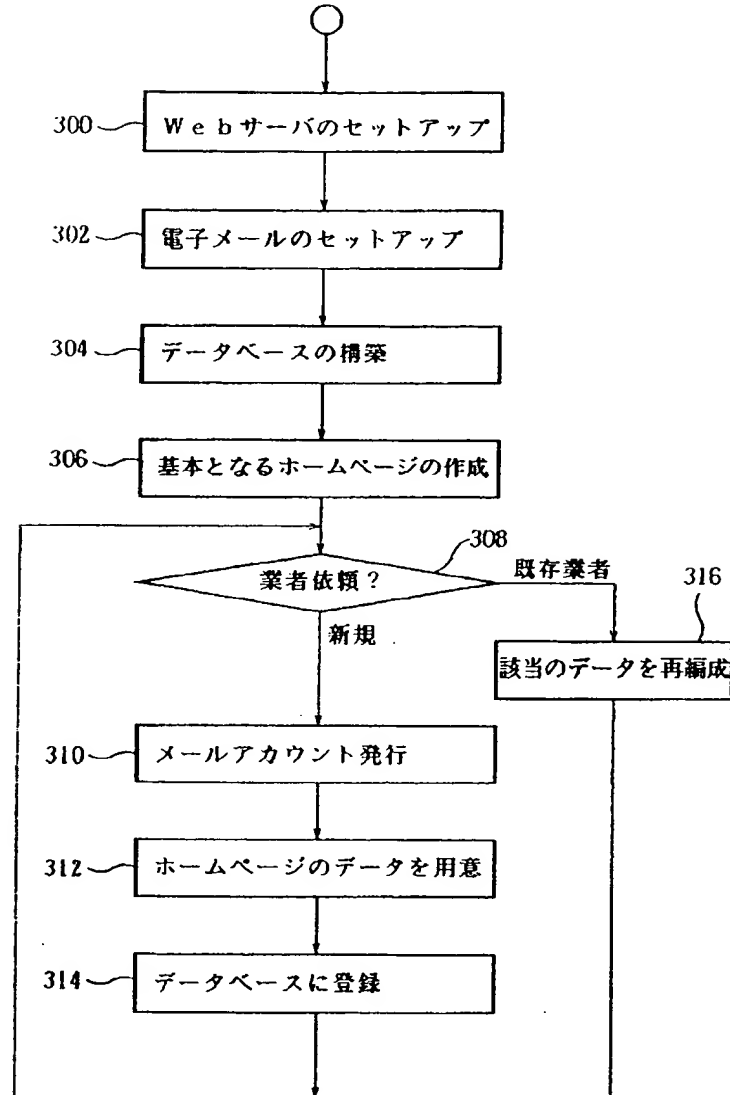


【図2】



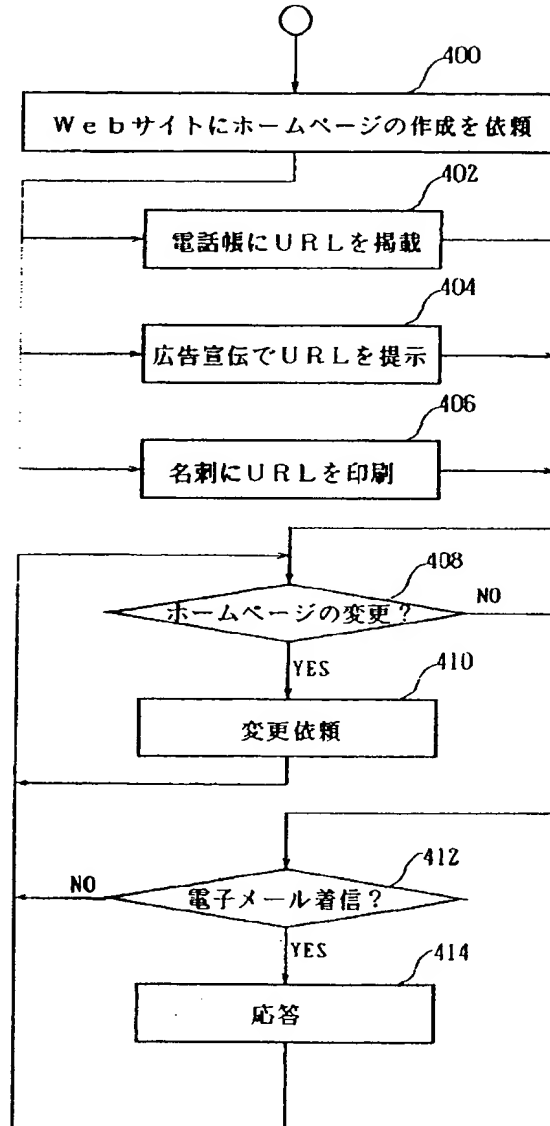
【図3】

Webサイト側の手順を説明するフローチャート



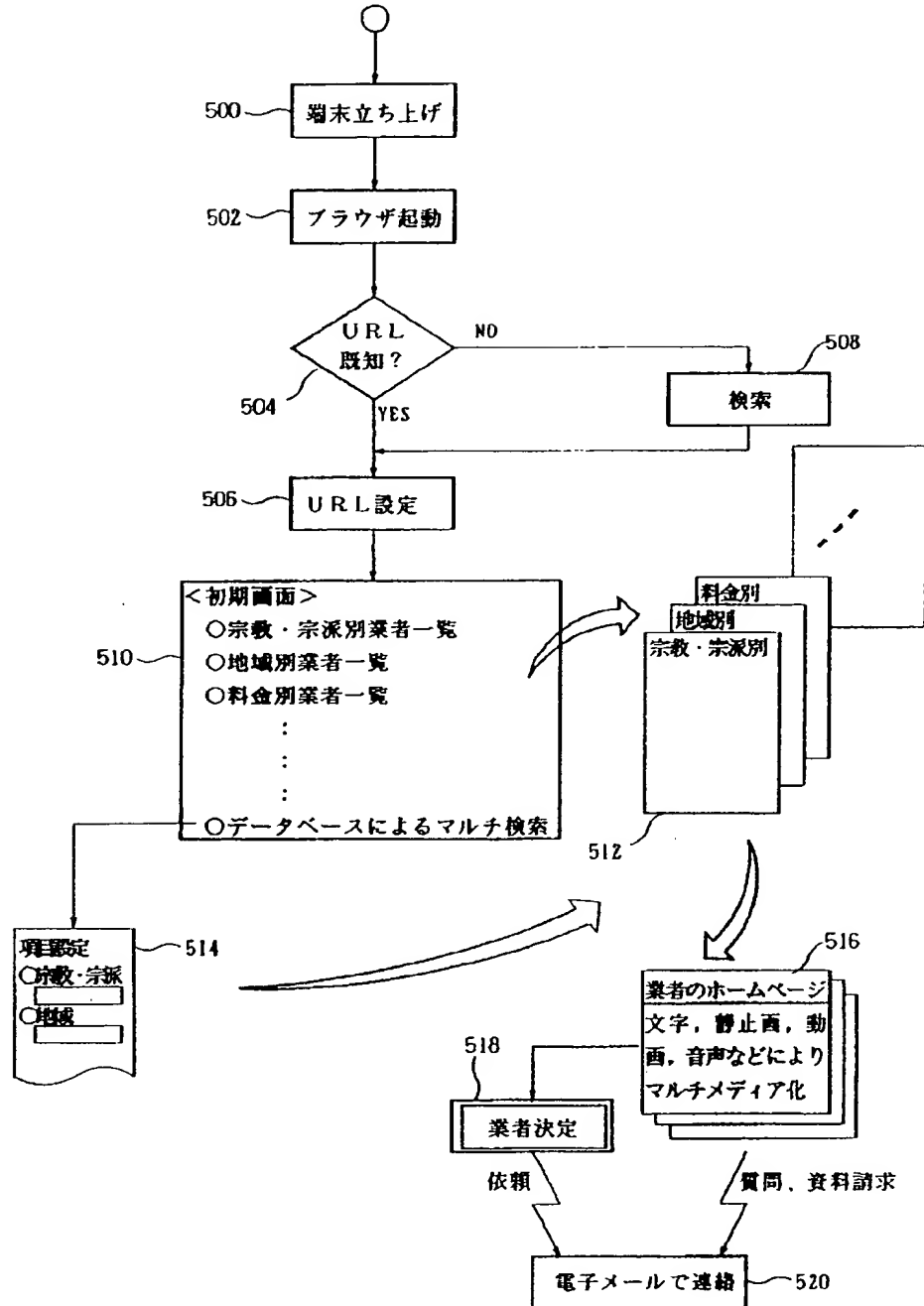
【図4】

業者側の手順を説明するフローチャート



【図5】

インターネットアクセス元の手順を説明するフローチャート



【手続補正書】

【提出日】平成8年11月11日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正内容】

【図4】業者側の手順を説明するフローチャート

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正内容】

【図5】インターネットアクセス元の手順を説明するフローチャート